

# 月刊きょうと教育通信

Vol. 27 平成17年3月号 発行:京都市教育委員会企画課( 222-3768)

京都市教育委員会のHPは<http://www.edu.city.kyoto.jp/>でご覧いただけます。広報資料は毎日更新しています。

## 大都市圏初の冊子

子どもの自学自習の  
習慣化を目指して

### 「家庭学習の手引き」を発行

子どもたちの学習意欲の低下や家庭での学習習慣・方法が十分に身につけていないことが課題となる中、「教育の原点」である家庭での教育力向上を目指し、家庭学習の手引き「家庭を学びの環境に～すすんで学ぶ子どもを目指して～」を発行しました。

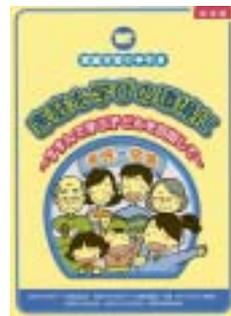
この手引きは、昨年8月、PTA、おやじの会、校長会の代表者や小・中学校の教員の参画により設置した「家庭学習の手引き作成プロジェクト」において、親や教員の立場で家庭学習の意義・重要性、望ましいあり方等について幅広く検討されてきました。

手引きは、子どもの発達段階に応じて小学校1年から中学校3年まで概ね2学年(中3のみ1学年)ごとに構成。子どもの成長や学習内容

の解説、「家庭学習のつぼ!3か条」等、家庭学習の具体的な進め方やしつけのあり方等を詳細に掲載し、大都市としては初めて発行する画期的なものとなっています。

3月17日には、「家庭教育を考えるシンポジウム」を開催。約350名の保護者等の参加の下、手引きの活用方法の説明や「家庭で、当たり前前を当たり前前」と題したパネルディスカッションが行われ、会場からも熱い期待が寄せられました。

なお、この手引きは、新年度に小・中・総合養護学校の児童生徒に配布します。



PTA代表も参加した熱心な議論が繰り広げられたパネルディスカッション

ご意見・お問合せ = 学校指導課( 222 - 3806)

## 梶本市長が提唱した施策を検討する 国の審議会等委員に門川教育長が就任

このたび、門川大作教育長は、中央教育審議会教員養成部会の委員に就任しました。

この部会では、文部科学大臣の諮問会議「これからの教育を語る懇談会」に、全国の市長を代表して委員を務めた梶本頼兼市長が提唱した、教員養成における専門職大学院や教員免許更新制のあり方について検討されます。

また、門川教育長は、17年2月に新設された「教員養成系学部等の在り方研究会議」委員にも就任。

教員の資質向上や大学との連携を積極的に推進した本市の取組が高く評価されました。

ご意見・お問合せ = 企画課( 222-3768)



中教審教員養成部会では、梶田勲一氏(兵庫教育大学長、写真右から1人目)が部会長に選任された。

## 《今月の主なできごと》

- 2日 市立学校文化芸術賞表彰式。「毎日・DAS高校生デザイン賞コンクール」で高校生部門において最優秀賞を受賞した佐藤慶太さん(銅駝美高)を表彰。
- 9日 第4回子ども安全会議。17年度に新たに取組む緊急連絡用インターホン整備やPTA・おやじの会ホームページの安心メールシステム構築等の具体化に向けて協議。
- 16日 中学校体育表彰。近畿中学校総合体育大会駅伝競争において区間1位の成績を収めた吉川竜矢さん(西賀茂中)、倉田慎之介さん(蜂ヶ岡中)、藤野結衣さん(神川中)を表彰。
- 18日 第4回教育改革推進会議。PTA・校園長会の参画のもと、「学校運営協議会」・「発展的な学習の内容」・「総合的な学習の時間」等について協議。
- 18日 教育委員としての任期満了(3月31日)を迎えた門川教育長の再任が市議会で承認。梶本市長から辞令が交付されました。
- 22日 関西大学(吹田市)と広範な連携協力に関する協定に調印。京都市外の大学では初!

子どもたちの命を脅かす諸課題の解決へ

## 人づくりフォーラム 開催

2月26日、人づくり21世紀委員会主催による第8回人づくりフォーラムが開催。会場となった国立京都国際会館メインホールは約1,700人の熱気に包まれました。

今回は、近年、子どもが被害者にも加害者にもなる様々な事件が全国各地で多発するという危機的な状況を踏まえ、「守りたい子どものいのち いま行動のとき!」をテーマとして、これまで全体協議会等の場で重ねられてきた議論をもとに、インターネット・携帯電話・児童虐待・子どもにふりかかる犯罪・薬物・エイズに関わる問題等特に子どもたちの命を脅かす緊急の課題について取組報告が行われました。



道下俊一先生(写真中央)と門川大作教育長(写真右)の対談。写真左は司会を務めた久保田真由美人づくり21世紀委員会幹事長。

また、津波で壊滅的な被害を受けた北海道霧多布の診療所で、地域で唯一の医者として47年間、8,000人の命を守り続けてきた道下俊一氏による講演と、門川教育長との対談に、会場は感動の渦に包まれました。

最後に、森洋一副幹事長からアピールが発表され、今回のフォーラムを新たな行動の出発点として一人ひとりが子どもと向き合い、心を通わせ、大人としてできることから始めることが確認され、会場からは大きな拍手が巻き起こりました。

ご意見・お問合せ =

家庭地域教育支援課 ( 222-3590 )

## 京都市の成人式が大賞を受賞!

新成人の自覚の促進や式典の円滑な進行、地域社会の活性化など多方面で大きな成果を上げ、他の模範とするにふさわしいと認められる成人式に贈られる「成人式大賞」(新成人式研究会主催)を、京都市が受賞しました。

本市の成人式では、ユース21京都のボランティアの皆様をはじめ、多くの関係機関の方々の御協力の下、厳粛な中にも温かみのある式典はもとより、これまで参加できなかった方が新成人と一緒に成人式に臨む「思い出成人式」や、式典のインターネット中継、「1/2成人式」への小学4年生の参加などを実施。こうした“成人の日をまち全体で祝う気運づくり”を目指す様々な取組が高い評価を受けました。



二十歳の半分の年齢となる小学四年生が新成人を祝う本市独自の成人式

ご意見・お問合せ = 社会教育課 ( 222-3800 )

## 京都市の学校を絶賛!! 文科省「スクールミーティング」

文部科学省の職員が学校を訪問し、教職員や保護者、子どもたちと意見交換を行う「スクールミーティング」が、2月22日に西陣中央小と修学院中で、3月1日には養護学校として全国で初めて白河総合養護学校で開催されました。

各校では、学校の概要説明の後、授業参観や「学校週5日制」、「総合的な学習の時間」等をテーマとした懇談を実施。また、西陣中央小では給食、修学院中では全校合唱、白河総合養護では喫茶室でのパンの販売等を通して子どもたちと職員の方との交流も図られました。



修学院中(写真上)、白河総合養護学校(写真下)での文科省との意見交換

文科省は、「全国に誇れる素晴らしい教育活動が展開されている」と絶賛されました。

ご意見・お問合せ = 教育計画課 ( 222-3815 )